

コード	IV-11-20	施策名	「有機の里うすき」の実現	
まちづくりの目標	魅力ある資源を市民が創り活かし、人が集まりにぎわうまち(産業・観光)	施策の方針	おいしく安全な食材を創り活かす	
5年後のめざす姿	「うすき夢堆肥」による「土づくり」に重点を置いた有機農業に取り組みやすい環境を整備し、生産者と消費者がともに「食」に関する重要性の理解を深めます。臼杵市長が認証する「ほんまもん農産物」(以下「ほんまもん農産物」)や「有機JAS認証による農産物」(以下「有機農産物」)を、気軽に手に入れることができる環境をめざします。			
施策の課題	「有機の里うすき」が掲げる循環型社会の構築に向けて、有機農産物の生産振興と担い手対策を同時に進めていくことが重要です。そのためには、有機の里うすきの根幹となる土づくりの更なる推進は基より、持続可能な農業経営への支援、農地の幹旋、意欲ある担い手の育成・確保に向けた研修制度の拡充など早急に対策を行う必要があります。			

< 施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次臼杵市総合計画 後期基本計画 >

新規指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
「ほんまもん農産物」と有機農産物栽培生産戸数		「ほんまもん農産物」及び有機農産物認証生産戸数	目標	戸	60	60	55	57	80	
			実績	戸	54	63	54	54	61	67
			達成率	%	105.0%	90.0%	98.1%	107.0%	83.8%	
学校給食での「ほんまもん農産物」と有機農産物の使用割合		学校給食の野菜使用総量に対する「ほんまもん農産物」及び有機農産物の使用割合	目標	%	16.0	15.0	35.0	45.0	35.0	
			実績	%	14.6	12.5	11.3	23.9	23.7	19.3
			達成率	%	78.1%	75.3%	68.5%	52.6%	55.1%	
「ほんまもん農産物」と有機農産物の利用店舗数		「ほんまもん農産物」及び有機農産物取扱店舗数	目標	店舗	30	35	70	75	50	
			実績	店舗	30	41	65	75	41	41
			達成率	%	136.7%	185.7%	107.1%	54.7%	82.0%	
「ほんまもん農産物」及び有機農産物栽培圃場面積		「ほんまもん農産物」及び有機農産物栽培圃場面積	目標	ha	84.0	88.0	87.0	91.0	100.0	
			実績	ha	80.0	80.8	85.9	50.0	97.0	89.0
			達成率	%	96.2%	97.6%	104.6%	106.6%	89.0%	
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						

指標の進捗状況	やや遅延	指標の分析	「ほんまもん農産物認証」並びに「有機JAS認証」の生産戸数は、若干の増加したものの、栽培圃場面積は、法人等が大幅に生産面積を縮小したことにより減少した。また、学校給食への使用割合については、夏季の高温により農産物の生産が大幅に減少した。
---------	------	-------	--

< 市民意識調査結果 R6実施結果 >

領域名	見直し領域	必要度	2.47	満足度	2.10
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域		浸透度	78.35%		
	過去の調査結果(領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	見直し領域	見直し領域	見直し領域		

< 施策を構成する主な事務事業一覧表 >

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項	
			R5年度実績	R6年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度		
1	土づくりセンター指定管理料	土づくりセンターの堆肥製造、販売等の指定管理を行います。	農林振興課有機農業推進室	35,100	38,500	有	概ね順調	強化	大	○
2	ほんまもの里うすき農業推進協議会補助金	環境保全型の推進、「ほんまもの里うすき」ブランドの確立、地産地消を推進する協議会への補助金	農林振興課有機農業推進室	3,550	4,450	無				○
3	有機農業起業家誘致奨励金	有機JAS認証を取得する新規農業者への奨励を行います。	農林振興課有機農業推進室	4,000	4,000	無				○
4	環境保全型農業直接支払交付金	環境保全を行う有機農業者への交付を行います。	農林振興課有機農業推進室	5,777	5,540	無				○
5	地域おこし協力隊(有機農業)	地域おこし協力隊制度を活用し、栽培研修及び販売対策事業に取り組みます。	農林振興課有機農業推進室	13,370	3,777	無				○
6	有機農業推進支援負担金	学校給食への安心・安全なほんまもん農産物利用率と農家の生産意欲向上のため学校給食調理場が購入する価格の上乗助成。	農林振興課有機農業推進室	2,537	2,056	無				○
7										
8										
9										
10										
合計				64,334	58,323	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

施策の評価 (今後の施策の方向性)

- 評価の選択肢 ○ 向上 .. 現状の通り維持向上する ○ 強化 .. 現状より強化を図る
 ○ 見直し .. 現状を見直し適正化を図る ○ 検討 .. 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価> ... 評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	生産者の高齢化や農業資材等の高騰など、農業を取り巻く状況は益々厳しくなっている状況に加え、近年の異常ともいえる気象状況において、その対策は急務です。そのため、担い手の育成・確保に向けては、研修制度の拡充等を図るほか、高温などの気象対策については、県や農協と連携した生産指導の強化や付帯施設等への支援に取り組んでいきます。